

～3L PET ボトルで、おいしい「一番搾り」や「キリンサワー」を提供する新たなサーバー～

「TAPPY（タッピー）」のテスト展開を、

全国6県の飲食店で11月16日（月）から開始

～飲食店での作業負荷軽減・コスト削減に加え、ワンウェイ容器で物流課題も解決～

キリンビール株式会社（社長 布施孝之）は、3L PET ボトルで「キリン一番搾り生ビール（以下「一番搾り）」や「キリンサワー」を提供可能な2タップの新たなサーバー「TAPPY（タッピー）」を、11月16日（月）から全国6県（愛知県・石川県・富山県・福井県・福岡県・宮崎県）でテスト展開します。2021年には、全国での展開を予定しています。また「TAPPY」で提供する「キリンサワー」は、新発売の商品となります。

「TAPPY」は、お客様においしいビールを提供し、飲食店や物流における課題を解決する新たなサーバーです。「ウズコロナにおける飲食店選択基準」を聞いた当社調査では、約3割の方が「おいしい生ビールを提供してくれるお店」と回答しています。一方でコロナ禍での外出自粛によって、お客様の飲食店訪問頻度や滞在時間が減少し、ビール1樽あたりの消費時間が長期化することで、お客様が求める「おいしいビール」の提供が難しいケースも発生しています。また重量があるビール大樽の持ち運びや、ビールサーバーの洗浄作業は、飲食店にとって一定の負担になっていました。

今回、「TAPPY」により小規模な3LPET ボトルを提供することで、よりおいしい「一番搾り」の提供が可能になり、お客様の「満足度」や「飲食店への来店動機」の向上、さらには「一番搾り」ブランドの価値向上が見込めます。また「TAPPY」は従来の樽詰生ビールサーバーに比べて商品の取り付けやサーバー洗浄が簡易であることから、飲食店における課題解決が実現できるほか、オペレーション負荷に伴う人件費および洗浄時にロスするビールが減ることなどから、平均的な店舗で年間あたり16万円のコストメリット[※]も見込めます。さらに3LPET ボトルというワンウェイ容器を採用することで、ビールの空樽回収作業が不要になり、社会的にひっ迫している物流負荷の低減、加えて物流費の抑制も実現できます。

「TAPPY」は、「一番搾り」だけでなく「キリンサワー」も提供でき、経年的に市場が拡大している「RTD（サワー・チューハイ）」需要の高まりにも対応します。

※キリンビール調べ

当社は、「TAPPY」の展開によって、社会課題の解決と業務用市場の付加価値向上を実現し、世の中によるこびを広げていきます。



キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

添付資料…「TAPPY」サービス概要、「キリンサワー」商品概要〈1枚〉

【添付資料】

「TAPPY」 概要

1. サーバー名 「TAPPY (タップピー) 」
2. 展開開始日 2020年11月16日(月)
3. 展開エリア 6県(愛知県・石川県・富山県・福井県・福岡県・宮崎県)の飲食店
4. 展開ブランド 「キリン一番搾り生ビール」「キリンサワー」
5. 展開目的 新しい什器と新しい商品の提供により、お客様に美味しい一番搾りを飲んでいただく機会を増やしていくことに加えて、飲食店様が抱えている樽詰生ビール提供に関わる課題の解決、特約店様・酒販店様が抱えている諸課題の解決に取り組んでいきます。
6. 容器について 3L小型ペットボトル容器を採用
7. 専用ディスペンサーについて
1台で2種類の商品が提供でき、省スペースで、容易に容器を交換できるディスペンサーを開発しました。商品を「おいしく」「かんたん」に「おトク」に提供できるという3つの価値を有しています。

「キリンサワー」 商品概要

1. 商品名 「キリンサワー」
2. 発売日 2020年11月16日(月)
3. 展開エリア 6県(愛知県・石川県・富山県・福井県・福岡県・宮崎県)の飲食店
4. 容器/容量 PETボトル/3L
5. アルコール分 8%
6. 酒税法上の区分 リキュール
7. 製造工場 キリンビール横浜工場